

□ 地域創生学部 地域創生学科 地域産業コース（令和7年度入学生用）

科目区分 コア・ユニット	科目名	配当年次	開講期				単位数			授業 時間数	卒業 要件	担当教員 (非常勤) ☆マークは代表教員	備考
			前 前	前 後	後 前	後 後	必 修	選 択	自 由				
学 び ス キ ル ・ リ テ ラ シ ー	大学基礎セミナーⅠ	1	○				1			30	12単位以上	☆重安、植村、鄭遇、足立、加納、小川仁、松本、辻愛、原田淳、松高	
	大学基礎セミナーⅡ	1		○			1			30		☆鍛島、鄭銀、工藤、長桶、市村、広谷、韓、栢下、古田、川畑	
	ICTリテラシーⅠ	1	○				1			30		佐々木、陳春、肖、小川仁、重安、岡部	
	ICTリテラシーⅡ	1			○			1		30		佐々木、陳春、肖、小川仁、重安	
	英語総合Ⅰ	1	○	○			1			30		(笠本)、(黒住)、(ホーソン寿栄)	
	英語総合Ⅱ	1			○	○		1		30		草薙、(笠本)、(黒住)、(ホーソン寿栄)	
	英語総合Ⅲ	2	○	○				1		30		(西原)、(ホーソン寿栄)、(黒住)	
	英語総合Ⅳ	2			○	○		1		30		(西原)	
	英語表現Ⅰ	1	○	○				1		30		(チャップマン)、(リー)、(カゼミ)	
	英語表現Ⅱ	1			○	○		1		30		(チャップマン)、(リー)、(カゼミ)	
	英語表現Ⅲ	2	○	○				1		30		(ボールドウィン)、(ステイチェック)	
	英語表現Ⅳ	2			○	○		1		30		(ボールドウィン)	
	中国語Ⅰ	1・2	○	○				1		30		(袁)、(徐)	
	中国語Ⅱ	1・2			○	○		1		30		(袁)、(徐)	
	韓国語Ⅰ	1・2	○	○				1		30		鄭遇、鄭銀、(鞠)	
	韓国語Ⅱ	1・2			○	○		1		30		鄭遇、鄭銀、(鞠)	
	ドイツ語Ⅰ	1・2	○	○				1		30		(小田)	
	ドイツ語Ⅱ	1・2			○	○		1		30		(小田)	
	アカデミック日本語Ⅰ	1・2	○					1		30		中石	
	アカデミック日本語Ⅱ	1・2		○				1		30		中石	
スポーツ実技Ⅰ	1			○	○		1		30	辻文、(村上妃)、(黒坂)			
スポーツ実技Ⅱ	2			○			1		30	辻文			
保健体育理論	2				○		2		30	辻文			
全 学 共 通 教 育 科 目	学 際 知	哲学	1・2・3・4	○				2		30	10単位以上	大草	
		文学	1・2・3・4		○			2		30		福田	
		芸術	1・2・3・4			○			2			30	(佐々木悠)
		心理学	1・2・3・4				○		2			30	向居
		社会学	1・2・3・4	○					2			30	澤田
		歴史学	1・2・3・4		○				2			30	岡本
		倫理学	1・2・3・4			○			2			30	大草
		経済学	1・2・3・4	○					2			30	山根
		科学史	1・2・3・4	○					2			30	☆村田、馬本、菅、福永、八木、米村、岩田、小林、長尾、吉野智、松崎
		生命倫理	1・2・3・4		○				2			30	☆吉川、古山
		基礎数学	1・2・3・4			○			2			30	富田哲
		統計入門	1・2・3・4				○		2			30	富田哲
		家族社会学	1・2・3・4				○		2			30	澤田
		文化人類学	1・2・3・4		○				2			30	上水流
		日本国憲法	1・2・3・4		○				2			30	岡田高
		法学	1・2・3・4			○			2			30	岡田高
		食と健康	1・2・3・4				○		2			30	長尾
		いのちと科学	1・2・3・4	○					2			30	☆岡田玄、北台
環境と科学	1・2・3・4		○				2		30	☆原田浩、内藤			
生活に役立つ力学	1・2・3・4			○			2		30	(吉野浩)			
地域社会と言語	1・2・3・4				○		2		30	小川俊			
論 理 思 考	アカデミック・ライティング	1			○		1		30	2単位以上	☆福田、目黒、草薙、朴、重丸、富田、谷本、三浦、鈴木、中石		
	クリティカル・シンキング	1・2				○	1		30		☆岡田高、和田、北台、松高、川畑		
	プレゼンテーション演習	1				○	1		30		☆村上、栗原、市村、韓、辻文		
地 域 課 題	国際社会の理解	2・3・4			○		2		30	2単位以上	☆上水流、岡田高、柳下、手島		
	地域情報発信論	2・3・4		○			2		30		☆広谷、藤井寛、吉田倫		
	地域教養ゼミナールA(エリア型)	2・3・4	○		○		2		30				
	地域教養ゼミナールB(テーマ型)	2・3・4		○		○	2		30				
	地域教養ゼミナールC(複合型)	2・3・4	○	○	○	○	2		30				
キ ャ リ ア 開 発	キャリアビジョン(デベロップメント)	2・3・4			○		2		30	2単位以上	☆原田淳、魚谷		
	ライフデザイン	2・3・4		○			2		30		☆岡田高、田中聡子、村上、川畑		
	ボランティア	2・3・4	○				2		30		手島		
	インターンシップ	2・3・4	○	○			2		30		原田淳 他		
	リーダー論	3・4	○				2		30		☆原田淳、魚谷		
ダ イ バ ー シ ン テ イ	多様性理解(ジェンダー論)	2・3・4			○		2		30	2単位以上	澤田		
	人間関係論	2・3・4			○		2		30		勝見		
	人権論	2・3・4				○	2		30		岡田高		
	世界の宗教	2・3・4				○	2		30		上水流		
	世界の言語と文化	1・2・3・4				○	2		30		☆河村、馬本、上水流		
	海外研修	1・2・3・4	○	○	○	○	2		30		岡本、栗原		
全学共通教育科目選択(上記の科目から選択)											6単位以上		
入 門 演 習	英語入門演習	1	○	○				1	30	自由科目:卒業要件としない	(笠本)		
	数学入門演習	1	○	○				1	30		岩田		
	生物入門演習	1	○	○				1	30		金岡		
	物理入門演習	1	○	○				1	30		米村		
	化学入門演習	1	○	○				1	30		小関		
合 計											36単位以上		

□ 地域創生学部 地域創生学科 地域産業コース（令和7年度入学生用）

科目区分 コア・ユニット	科目名	配当年次	開講期				単位数			授業 時間数	卒業要件	担当教員 (非常勤) ☆マークは代表教員	備考
			前 前	前 後	後 前	後 後	必 修	選 択	自 由				
専 門 教 育 科 目	多文化共生入門I	1			○		2		30	10単位以上修得 但し、 (1)経営コアユ ニット選択予定者 は「経営学概論」 「会計学概論」 「マーケティング 概論」「簿記原 理」「ファイナンス 概論」「ミクロ経済 学」「中級簿記」 の7科目から8単 位を含む10単位 以上修得。 (2)情報コアユ ニット選択予定者 は「入門統計学」 「IoT・情報システ ム基礎学」「基礎 プログラミング入 門」「基礎情報学 入門」の4科目8 単位を含む10単 位以上修得。	☆草薙、植村、鄭遇、タインズ		
	多文化共生入門II	1			○		2		30		☆栗原、鄭銀、向居、上水流		
	文化継承入門I	1			○		2		30		☆和田、岡本、杉山聖		
	文化継承入門II	1			○		2		30		☆福田、小川俊、目黒、工藤		
	地誌学	1			○		2		30		(横川)		
	人文地理学	1			○		2		30		(横川)		
	自然地理学	1	○				2		30		(澤田結)		
	経営学概論	1	○				2		30		長桶		
	会計学概論	1		○			2		30		加納		
	マーケティング概論	1			○		2		30		粟島		
	簿記原理	1			○		2		30		加納		
	ファイナンス概論	1		○			2		30		村上恵		
	ミクロ経済学	1				○	2		30		山根		
	中級簿記	2	○				2		30		加納		
	地域政策論	2			○		2		30		和田		
	入門統計学	1	○				2		30		富田哲		
	IoT・情報システム基礎学	1		○			2		30		小川仁		
	経営情報論	1			○		2		30		広谷		
	基礎プログラミング入門	1				○	2		30		重丸		
	基礎情報学入門	1				○	2		30		小川仁		
	基礎情報活用演習	2	○				2		30		重丸		
	人工知能概論	2	○				2		30		市村		
	データサイエンス入門・同演習	2		○			2		30		富田哲		
	ITパスポート試験対策演習	1・2・3・4			○		1		30		小川仁		
	データ分析とプログラミング	1・2・3・4				○	2		30		野呂		
	人工知能応用基礎論	1・2・3・4				○	2		30		松井		
	生命科学	1	○				2		30		(木下)		
	基礎化学	1	○				2		30		(多山)		
	微生物学	3		○			2		30		(多山)		
	予防医学	1			○		1		15		安武		
	保健政策論	1				○	1		15		安武		
	公衆衛生学	3			○		1		15		菅井		
	環境衛生学	3			○		1		15		☆(秋田)、(杉山文)	集中講義	
	健康科学情報処理演習	1				○	2		30		鍛島		
	経 営 C U 1	経営史	2		○		2		30		(張)	集中講義	
		経営組織論	2			○	2		30		長桶		
		流通システム論	2				○	2	30		粟島		
		経営管理論	2		○		2		30		(平野)	集中講義	
		工業簿記	2		○		2		30		足立		
		経営戦略論	2		○		2		30		朴		
経営分析論		2			○		2	30	足立				
金融論		2	○				2	30	村上恵				
マクロ経済学		2			○		2	30	山根				
ベンチャービジネス論		2		○			2	30	(矢澤)	集中講義			
社会調査論		2		○			2	30	(中島)	集中講義			
人的資源管理論		2				○	2	30	(平野)	集中講義			
NPO論		2				○	2	30	(東郷)	集中講義			
パーソナルファイナンス論		2				○	2	30	村上恵				
地域産業特別講義		2・3・4				○	2	30	☆栗島、山根、朴、長桶				
情 報 C U 1		サプライチェーンマネジメント	2			○	2		30	広谷			
	マネジメント工学	2	○			2		30	広谷				
	応用情報研究序論	2		○		2		30	☆重丸、市村、小川仁、折本、重安、肖、 陳春、富田哲、韓、宇野、岡部、佐々木、 広谷、陳訓				
	プログラミング	2	○			2		30	宇野				
	線形代数	2	○			2		30	陳春				
	情報数学Ⅰ	2		○		2		30	折本				
	情報数学Ⅱ	2			○	2		30	市村				
	プログラミング演習	2			○	1		30	宇野				
	オペレーティングシステム	2				○	2	30	重安				
	データベース	2				○	2	30	岡部				
	システム開発論	2			○		2	30	折本				
	機械学習	2			○		2	30	岡部				
	知能情報学	2	○				2	30	韓				
	知能情報演習	2			○		1	30	韓				

※次のページの
情報CU2にも2
年次配当科目
があるので注意
すること

□ 地域創生学部 地域創生学科 地域産業コース (令和7年度入学生用)

科目区分 コア・ユニット	科目名	配当年次	開講期				単位数			授業 時間数	卒業要件	担当教員 (非常勤) ☆マークは代表教員	備考		
			前 前	前 後	後 前	後 後	必 修	選 択	自 由						
専 門 教 育 科 目	経 営 C U 2	国際経営論	3				○	2		30	30単位以上 但し、 (1)経営コアユ ニット選択者は 経営CU2の科 目から、26単位 以上 (2)情報コアユ ニット選択者 は、情報CU2の 科目から、必修 科目を含め、26 単位以上 (3)情報CU2の 必修科目は、 情報コアユニット 選択者のみに 適用	長桶			
		サービスマーケティング論	3		○			2		30		栗島			
		財務会計論	3	○				2		30		(山崎)			
		税務会計論	3		○			2		30		☆加納、足立			
		イノベーション論	3		○			2		30		朴			
		コンテンツ産業論	3		○			2		30		(矢澤)	オンライン		
		経営法務	3	○				2		30		(松原正)			
		管理会計論	3		○			2		30		足立			
		コーポレートファイナンス論	3	○				2		30		村上恵			
		ビジネスモデル論	3			○		2		30		(矢澤)	オンライン		
		組織行動論	3		○			2		30		(平野)	集中講義		
		マーケティングリサーチ	3			○		2		30		(川原)			
		技術マネジメント論	3			○		2		30		魚谷			
		NPO会計論	3			○		2		30		(山崎)			
		証券論	3			○		2		30		(鈴木喜)			
		行動経済学	3		○			2		30		山根			
		リスクマネジメント論	3				○	2		30		朴			
		知的財産権関連講座	3				○	2		30		川畑			
		監査論	3			○		2		30		(橘)			
		パブリックファイナンス論	3				○	2		30		(新宅)			
		企業法	3		○			2		30		(松原正)			
		専 門 教 育 科 目	情 報 C U 2	画像情報処理	2		○			2			30	肖	
				プログラム言語処理	2		○			2			30	重安	
				情報ネットワーク	2				○	2			30	陳春	
				データ構造とアルゴリズム	2			○		2			30	陳訓	
				数値解析	3	○				2			30	重丸	
音声情報処理	3			○				2		30	折本				
ビッグデータ解析演習	3			○				1		30	岡部				
応用情報システム特別講義	3			○	○			2		30	(菅原)	集中講義			
確率統計	3			○				2		30	富田哲				
情報システム論	3				○			2		30	宇野				
情報セキュリティ	3				○			2		30	佐々木				
最適化理論	3				○			2		30	肖				
情報ネットワーク実験	3				○			1		30	陳春				
応用プログラミング	3					○		2		30	佐々木				
データマイニング	3					○		2		30	陳訓				
技術英語講読 I	3				○			1		30	韓、広谷				
グラフィカルプログラミング	3					○		2		30	宇野				
多変量解析	3					○		2		30	韓				
情報セキュリティ実験	3						○	1		30	佐々木				
Webインテリジェンス	3					○		2		30	岡部				
コンピュータシミュレーション	3					○		2		30	重丸				
モバイルネットワークシステム	3				○			2		30	重安				
IoT・AI特別講義	3						○	2		30	☆肖、岡部、富田哲、陳春				
技術英語講読 II	3						○	1		30	肖、折本				
ニューラルネットワーク	3					○		2		30	肖				
深層学習	3					○		2		30	市村				
地域協働演習	3		○			2		30	重安						
卒 業 論 文 ・ 卒 業 研 究	地 域 課 題 研 究	地域課題解決研究 I a	3	○	○		2		30	「専門演習 I a・ I b・II a・II b」 または「地域課 題解決研究 I a・I b・II a・II b」から8単位	学部教員				
		地域課題解決研究 I b	3	○	○		2		30		学部教員	地域課題解決研究 I aの単位を取得していること			
		地域課題解決研究 II a	4	○	○		2		30		学部教員	地域課題解決研究 I bの単位を取得していること			
		地域課題解決研究 II b	4	○	○		2		30		学部教員	地域課題解決研究 II aの単位を取得していること			
		経営学専門演習 I a	3	○	○		2		30		足立、栗島、朴、村上恵、山根、加納、長桶				
		経営学専門演習 I b	3	○	○		2		30		足立、栗島、朴、村上恵、山根、加納、長桶	経営学専門演習 I aの単位を取得していること			
		経営学専門演習 II a	4	○	○		2		30		足立、栗島、朴、村上恵、山根、加納、長桶	経営学専門演習 I bの単位を取得していること			
		経営学専門演習 II b	4	○	○		2		30		足立、栗島、朴、村上恵、山根、加納、長桶	経営学専門演習 II aの単位を取得していること			
		応用情報システム専門演習 I a	3	○	○		2		30		市村、小川仁、折本、重安、肖、陳春、富田哲、韓、宇野、岡部、佐々木、重丸、広谷、陳訓				
		応用情報システム専門演習 I b	3	○	○		2		30		市村、小川仁、折本、重安、肖、陳春、富田哲、韓、宇野、岡部、佐々木、重丸、広谷、陳訓	応用情報システム専門演習 I aの単位を取得していること			
応用情報システム専門演習 II a	4	○	○		2		30	市村、小川仁、折本、重安、肖、陳春、富田哲、韓、宇野、岡部、佐々木、重丸、広谷、陳訓	応用情報システム専門演習 I bの単位を取得していること						
応用情報システム専門演習 II b	4	○	○		2		30	市村、小川仁、折本、重安、肖、陳春、富田哲、韓、宇野、岡部、佐々木、重丸、広谷、陳訓	応用情報システム専門演習 II aの単位を取得していること						
	合計						88		88単位以上						
	卒業要件総合計						124		124単位以上						
自 由 科 目 選 択	IoTシステム開発プロジェクト演習	IoTシステム開発プロジェクト演習	3			○		2	60	自由科目：卒業 要件としない	☆宇野、市村、小川仁、折本、重安、肖、陳春、富田哲、韓、岡部、佐々木、重丸、広谷、陳訓				
		AIシステム開発プロジェクト演習	3			○		2	60		☆岡部、市村、小川仁、折本、重安、肖、陳春、富田哲、韓、宇野、佐々木、重丸、広谷、陳訓				
		基本情報技術者試験対策演習	2・3・4			○		1	30		小川仁				

配当年次：学生に履修を推奨する年次(履修可能な年次ではない)。

各年次に配当する場合は例えば「1・2・3・4」のように記載している。⇒ 配当された年次のいずれかで履修すれば良い。

年次をまたがって配当する場合は例えば「3~4」のように記載している。⇒ 配当された年次全てで履修しなければならない。

開講期：○印が複数期に付されている場合は、いずれか可能な時期に履修すれば良い。ただし、クラス分けなどにより履修する時期が指定される場合がある。

単位数

必修：当該学科等の教育目的を達成するため、卒業要件として修得を必要としている科目

選択：学生の履修目的に応じて選択し、修得単位を卒業要件に算入する科目(選択必修科目を含む)

自由：単位認定できるが卒業要件に算入しない科目